

日本の伝統文化と生物多様性の恵み



山麓部のヤマザクラ

生物多様性の恵みと地産地消

お正月には、しめ飾りや門松を玄関に飾り、お雑煮やおせち料理を食べて、新年が始まり、7日には七草粥を食べて、1年の無病息災を願います。

日本の食文化や伝統文化は、地域の食材や自然の恵みとしての植物や生き物の多様性に支えられています。

植物は酸素を作り出し、森の木は地中に根を張り、大雨による土砂災害を防ぐなど、大切な機能を果たしていますが、多様な植物は、日本の食文化や伝統文化の材料にもなり、私たちの暮らしを豊かにしてくれています。

近年、グローバル化により世界中から食材がもたらされていますが、一方で森林破壊が懸念される他、輸送による化石エネルギーの消費も問題になっています。

地元で取れた食材を地元で消費する、旬の食材を選んで食べるという地産地消の試みは、地元の農地や食文化、伝統行事を守るだけでなく、輸送にかかる燃料や二酸化炭素の排出量を削減することにもつながります。

公益的な財産として保全すべき「里山」

燃料がガスや石油に代わり、化学肥料の利用が拡大すると薪炭林、農用林としての役目を失い、里山の多くは、利用されることがなく放置されてきました。

その結果、高木化・大径木化が進み、台風による倒木被害も多発しています。また、増えすぎたシカによる食害で下層植生が衰退し、土砂災害を防止する機能が劣化しています。山林所有者や行政だけでなく、市民が中心になって、公益的な財産として、守り育て活かすことが大切です。



ヤマザクラ



コバノミツバツツジ

縁起がいいとされる植物

縁起がいい植物といえば「松竹梅」を思い浮かべる方も多いと思いますが、春を告げる花々も、事の始まりを祝して縁起がいいといわれています。商売繁盛の願いを込めた赤い実のなる植物も縁起物です。ヒイラギは葉にトゲがあり、節分には欠かせませんが、クリスマスにも付きもので、洋の東西を問わず、トゲのある樹木は悪気を祓うとされています。



ナンテン(難を転じる)



フクジュソウ(福寿草)



ヒイラギ(魔除け、鬼除け)



マンリョウ(万両)



センリョウ(千両)



ヤブコウジ(十両)



アリドオシ(一両)



ウグイスカグラ(鶯神楽)

山林所有者からのボランティア派遣要請による山林整備



山麓部の山林がかかえる課題

市街地から眺める山麓部の山林(山なみ景観保全地区約380ha)は、国・府・市など行政などが所有していると思われがちですが、約80%は個人が所有している「私有林」です。

「自分の山がどこにあるのか分からない」「遠隔地に住んでいたり高齢化で山に行けない」「倒木などで山が荒れている」「土砂災害が心配」「山林を手放したいが受けてくれる人がいない」など多くの課題を抱えています。また、相続登記がされずに所有者が不明の山林も増えています。

自然緑地指定に同意した山林所有者への活動助成

「みのお山麓保全活動助成金」

山林所有者が行う山麓保全活動に、25円/1㎡、最大25万円の助成を行っています。2021年度は、83件の山林所有者の助成申請が採用されました。(助成金額:8,557,600円)

《2020年度の山林所有者による活動の概要》

徐間伐46件、倒木処理35件、下草刈22件、枯枝落とし20件など

《活動の実施主体》

山林整備ボランティア派遣49件(60%)、共同体(旧村落・寺・水利組合)9件(11%)、共同体以外の個人24件(29%)※(構成比)

毎年増えているボランティア派遣の要請

高齢化、遠隔地に居住、一人で山林整備は出来ないなどの理由で、ボランティアへの派遣要請が毎年増えています。

2021年度は51件(前年より2件増)の派遣要請を受けており、11月から活動を始めて冬の期間に終了する予定です。

※活動実績:2020年度 613人日、2019年度400人日



山林整備前の人工林(西坊島)



山林整備ボランティアの活動(2021.11.3)



倒木処理など山林整備後の人工林

生物多様性研究フォーラム「箕面の外来生物」 2022年2月11日(祝)に開催!



箕面にも多くの外来生物が生息しています。どのように付き合えばいいのでしょうか、みんなで考えましょう!

☆2月11日(祝)午後1時30分~3時30分(予定) ※参加費無料

☆集合...箕面文化・交流センター(阪急箕面駅前)8階大会議室

☆基調講演...箕面の森の生物多様性を脅かす外来生物(仮)

大阪府立大学 名誉教授 石井 実 氏

☆報告...市民参加型の生物多様性モニタリングの現在と展望(仮)

(株)バイオーム 藤木 庄五郎 氏

☆報告...大阪府・北摂の外来生物の概要

大阪府立環境農林水産総合研究所 生物多様性センター 幸田 良介

※事前申込が必要:メール又はFAXで、氏名・連絡先をNPO山麓委員会迄

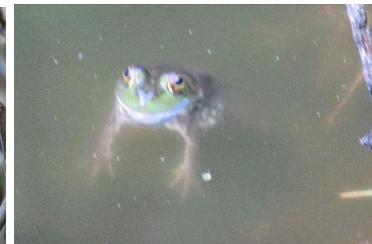
【特定外来生物】 外来種で、生態系、人の生命・身体、農林水産業へ被害を及ぼすもの、又は及ぼすおそれがあるもの



アライグマ



ソウシチョウ



ウシガエル



ナルトサワギク

こもれびの森、市民が進める森づくり



生活環境保全林

みどりのまちづくりが魅力の一つである箕面では、豊かな自然環境の保全とあわせて、森林が持つ持続可能な防災・減災機能を引き出すことが大切です。防災・減災のために、ダムのようなインフラ整備だけでなく、森林が持つさまざまな機能をうまく組み合わせ、お互いに補い合うことが有効な対策の一つとして期待されます。

「生活環境保全林」であるこもれびの森では、市民に憩いの場を提供する機能を高めるとともに、下流のまちの土砂災害のリスクを減らす機能の向上も期待されています。

2018年9月の台風被害の後、大阪府が作業道を作って倒木を撤去し、3ヶ所に防鹿用の金柵を設置し、その後、2ヶ所に市民が中心になって防鹿ネットを設置しました。

行政だけではなく、市民が主体となって、対象となるエリアごとに管理方針を設定し、現状把握とモニタリングを行いながら、順応的な管理による森づくりを進めたいと考えています。

①金柵内の斜面地

現状：先駆種（パイオニア植物）中心に植生が回復

方針：自然に植生が回復することを期待、可能な限り手を入れない
※埋土種子の発芽、母樹からの風散布・重力散布、野鳥などによる被食散布に期待

②金柵内のハイキング道

現状：植生が回復しているが、道沿いでは土壌がむき出し状態

方針：修景性が得られる樹種を植樹し、憩いの場として整備
※外来植物や植栽由来種などは除去

③金柵の外のハイキング道

現状：シカによる食害が強く裸地状態、路肩の崩落リスクがある

方針：シカが嫌いな樹種の植樹、及び種子散布、植樹木に防鹿ネットを設置、可能な限り手を入れて緑化を推進



金柵内の斜面とハイキング道



防鹿ネット内にシカが侵入



単木用防鹿ネットを付け替え



防鹿ネットにスカートネット設置



シカが嫌いな樹種の種子散布

《今までの主な活動》

2019年度：イロハモミジ53本、ブナ科30本など83本を植樹、30人が参加

2020年度：雑木の整備、防鹿ネットの設置（オケ原林道沿い）、ヤマザクラ50本、ツツジ50本、コナラ、ムラサキシキブ、ガマズミ、カマツカなど245本を植樹、計92人が参加

2021年度：防鹿ネットの設置（ハイキング道沿い）、植生調査、防鹿ネットの補修、ダンドボロギク・ヒメムカシヨモギの除去、ヤマザクラの単木用ネット付け替え、防鹿ネットにスカートネット（5cm目）設置など、計70人が参加

こもれびの森での植樹イベント 2022年3月13日（日）に開催！

「宝くじ桜」事業で寄贈を受けるヤマザクラなどの苗木の植樹、植樹木がシカに食べられないための単木用防鹿ネットの設置などの活動を行います。比較的平坦な作業道沿いで植樹などの活動を行います。

市民が進める森づくりの活動にご協力をお願いします。※ヤマザクラなどの苗木の植栽は園芸業者に委託予定。



3月13日（日）午前9時30分～午後零時（予定）

○集合・・・9時30分までに、こもれびの森、緊急ポイントB9地点（オケ原林道沿い）

○内容・・・ヤマザクラ50本、アセビ、ミツマタなどの植樹

防鹿柵外の植樹木に単木用防鹿ネットを取り付け

※費用・・・約1,000千円

園芸業者への委託費、単木用防鹿ネット購入費など

※財源・・・公益財団法人夢＆環境宮崎基金・・・500千円

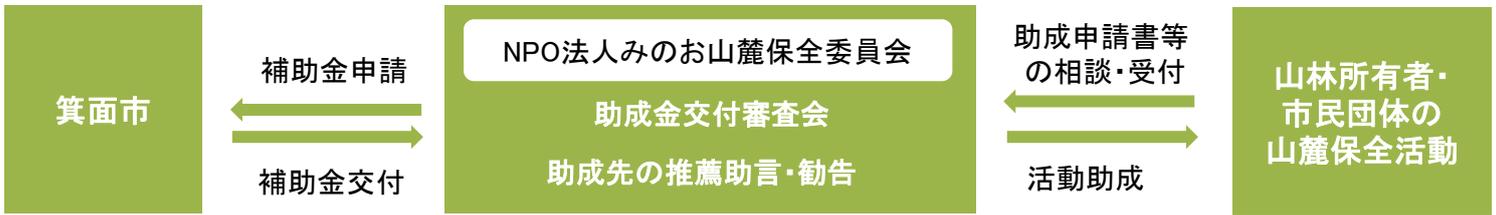
市民から寄せられた災害復興募金・・・500千円

※事前申込が必要：メール又はFAXで、氏名・連絡先をNPO山麓委員会迄

2022年度「みのお山麓保全活動助成金」2月期の募集

みのお山麓保全活動助成金は、四季折々に美しい箕面のみどり豊かな山麓を守り、育て、活かすために、山林所有者や市民の活動を応援(助成)する仕組みです。毎年、前期(2月)後期(8月)にその年度の活動を募集しています。NPO法人みのお山麓保全委員会は、中間支援組織として、山林所有者や市民の活動支援や助成金を活用した活動の相談や助成申請の受付などの事務を行っています。お気軽に事務局までご連絡ください。

《みのお山麓保全活動助成金の仕組み》



- 申請受付期間: 2月1日(火)～28日(月) ■対象となる事業期間: 2022年4月1日～2023年3月31日
- 助成金額: 1件あたり25万円以内

■山林所有者への助成

箕面市環境保全条例により「自然緑地」として指定された山林において、その所有者が里山の管理を行う場合の助成金額は、土地登記簿面積1㎡あたり25円と計算します。(上限25万円)

助成申請のためには、**自然緑地等指定同意書**を提出していただく必要があります。

助成は箕面市の2021年度の補助金予算の範囲内で行います。

このため、全体の応募件数によっては、助成の要件を満たす団体・活動であっても必ずしも助成の対象とならないことがあります。また、助成金の額は助成の対象となる活動にかかる経費であっても、必ずしも申請 どのりの額を助成できるものではないことをご承知ください。

2021年度「みのお山麓保全活動助成金」の助成実績

■山林所有者による活動を助成(2月・8月期)

(箕面市環境保全条例による自然緑地指定同意書提出者)

件数: 83件、筆数: 228筆、面積: 424,992㎡、金額: 8,557,600円、山林整備サポート要請件数: 51件(前年より2件増)

■市民団体等による活動を助成(2月・8月期)

件数: 16件、申請金額: 1,904,000円に対して、1,756,000円を助成

※助成決定後、新型コロナウイルス感染防止のため辞退2件

活動団体名	保全活動名	助成金額
1.箕面の山パトロール隊	山地美化活動を中心とした箕面の山のパトロール活動	¥250,000
2.箕面だんだんクラブ	箕面市体験学習の森の整備及び間伐材の有効活用	¥168,000
3.しおんじ山の会	しおんじ山の再生・活用・整備活動	¥89,000
4.杜の会	民有林の整備活動	¥45,000
5.とんど山桜園の会	とんど山桜園の維持管理活動と里山文化の復活継承	¥74,000
6.みのおエコクラブ	緑と触れあう体験活動と自然農法の実践活動	¥181,000
7.みのお森のふれあい広場運営委員会	山麓保全活動等の情報発信と関連イベントの実施	¥75,000
8.箕面生物多様性会議	オケ原池周辺の生物多様性の復活推進	¥47,000
9.箕面の森のきこり隊	箕面里山の保全活動と人材育成	¥37,000
10.箕面観光ボランティアクラブ	箕面滝道への樹名板の設置	¥100,000
11.かやの中央まち育て交流会	第18回まんどろ火祭り ※新型コロナウイルス感染防止のため辞退	¥250,000
12.箕面の森の音楽会	箕面の森の音楽会の活動 ※新型コロナウイルス感染防止のため辞退	¥119,000
13.箕面学園高校	箕面川の生物相調査	¥78,000
14.山麓学習協議会	子ども達の山麓自然環境学習と講師養成講座の開催	¥141,000
15.箕面マウンテンバイク友の会	マウンテンバイクのモラルやマナー向上と新稲の森での普及活動	¥40,000
16.箕面ナチュラルリストクラブ	里山とのふれあいと自然環境保全の普及啓発活動	¥62,000

NPO法人 みのお山麓保全委員会

〒562-0001箕面市箕面6-3-1 みのおサンプルザ1号館2階211号室

電話&FAX: 072-724-3615 携帯電話: 090-1133-3615

メール: yama-nami@yama-nami.net

ホームページ:

www.yama-nami.net(検索: 山なみネット)

* 箕面の山麓保全情報のポータルサイト「みのお山なみネット」

